

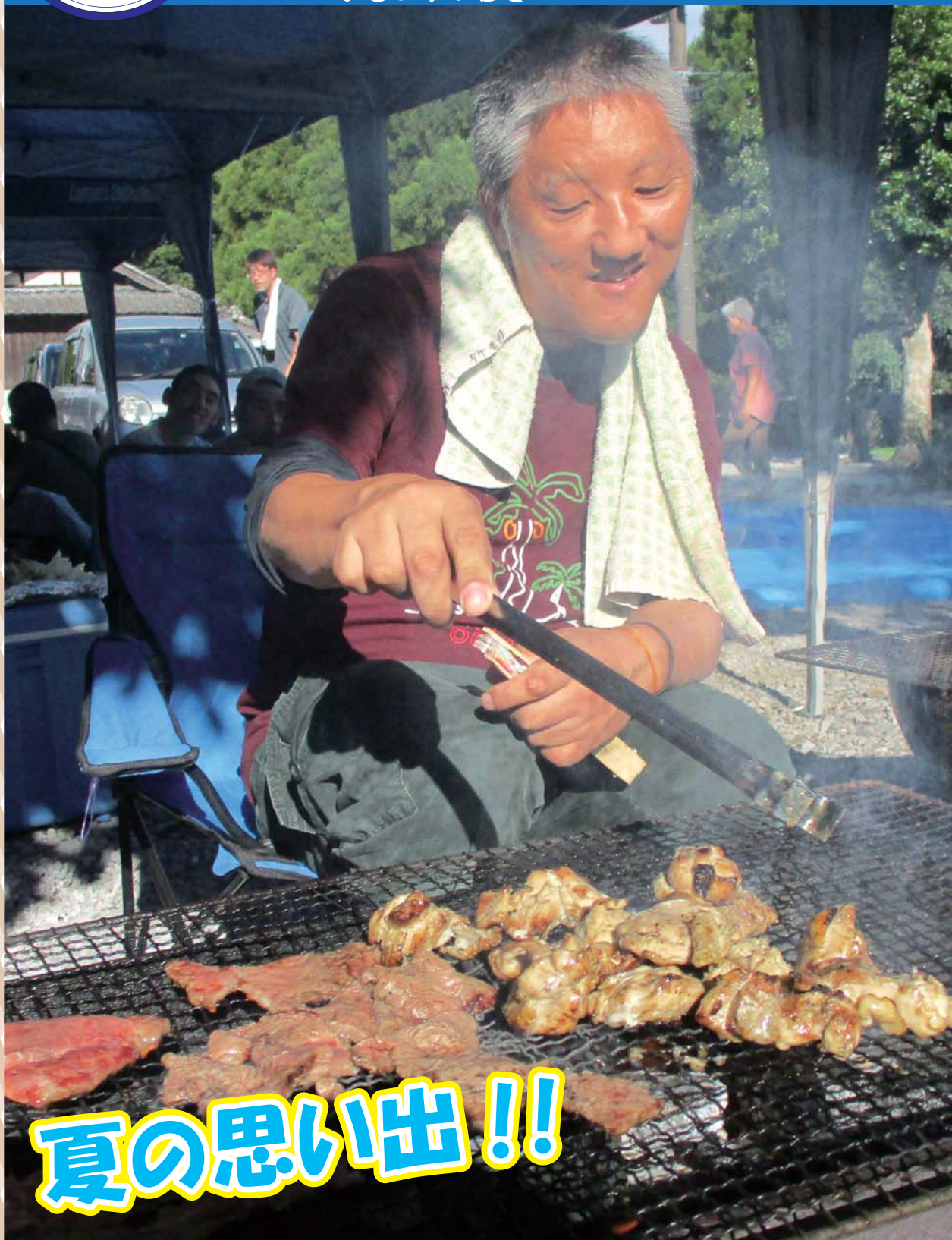
秋号
第331号

一粒の麦

社会福祉法人エデンの園

2023年10月21日

ひとつぶのむぎ



夏の思い出!!

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～ 相談支援の中で考えること ～

エデンの園相談支援事業所 荒川 英之

令和5年9月、当法人は、新富町に就労継続支援B型事業所「結（むすび）」及び相談支援事業所「るるテラス」を、10月には、西都市に生活介護事業所「あゆむ」を開設致しました。「エデンの園相談支援事業所」でも10月より、これまでの計画相談支援に加えて、一般相談支援事業を開始することとなりました。一般相談支援事業とは、主に、地域移行支援と地域定着支援を行う事業です。

地域移行支援では、障害者支援施設・児童福祉施設・保護施設・矯正施設等に入所している障害者、または精神科病院に入院している精神障害者が地域生活へ移行するために、外出支援や住宅の確保、日中活動先の調整など、地域における生活に移行するための相談や支援を行います。

地域定着支援では、居宅において単身等で生活する障害者に、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、常時の緊急連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談などの支援を行います。

地域移行・地域定着支援は、受入条件を整えば退院可能な精神障害者（いわゆる社会的入院）の精神科病院からの退院促進のための事業から始まっています。今から25年程前、私が初めて足を踏み入れた精神科の病棟には、私が生まれる前からそこに入院をされている方々がおり、そういった存在を知らずに生活してきた私にとっては、その事実を上手く整理出来ず、想像が及ばない何とも言い難い感覚となったことを今でも覚えています。

日本の精神病床数は、「全世界の精神病床のうち約2割が日本にある」と言われる程に国際的に見ても飛び抜けて多く、また、在院期間も長いことが知られています（10年以上の入院者が17% 20年以上の入院者も7.3% 令和4年度精神保健福祉資料）。国連からも「障害者が地域で暮らす権利が保障されていない」と改善勧告を受けるなどしている状況です。病院から地域への退院について考える時、いつも思い浮かんでくるソーシャルワーカーの大先輩の言葉があります。

退院を考える時、「何かあった場合、誰が『責任』を取るんだ」との声にどう答えるのかという現実はある。しかし、一方で「社会に出れなくして、生きる力を奪った『責任』は誰が取るんだ」との声なき声があることもしっかりと認識しなければならない。実際には、この二つの『責任』を天秤にかけながら、取り組んでいかななくてはいけない。

こんな意味の言葉です。どちらか一方に偏らずにということですが、そもそも、後者の声なき声を、確かにあるものとして、聞くことが出来ているのかと言われると、自信のない自分が今でもいます。長期入院から地域への退院に限らず、様々なケース、場面で、この二つの『責任』の間で葛藤することは多いですが、判断基準を見誤らないように、本人、家族、関係機関としっかりとコミュニケーションを取り、一つ一つ、丁寧に取り組んでいきたいと考えています。

(それぞれの事業所からのご挨拶)

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

夏祭りを行いました♪

エデンの園入所施設では、各エリアで夏祭りが開催され射的・ヨウヨウ釣り・パラスポーツ等が行われました。普段と変わった雰囲気、利用者さんの表情もとても良く職員も楽しむことが出来ました。

宮 永 康 平



●エデンホーム三名

BBQを楽しみました♪

エデンホーム三名では、今年の夏に利用者様の要望も踏まえ、全体でのBBQ大会を実施しました。天候も曇りの中での実施となり、途中雨が降って虹がかかるといった状況もありましたが、日頃の疲れを忘れ、皆さん美味しいお肉やおにぎりを食べながら、楽しい時間を過ごすことが出来ました。また以前から要望が多くあった花火も、職員と一緒に安全面に配慮した上で実施することができ、利用者様も満足された様子でした。今回のような季節に合った行事の実施をこれからもエデンホーム三名では多く取り入れていきながら、楽しいホーム生活の提供を行っていきたいと思います。

世話人兼生活支援員 保利 翼

●エデンの園 ふれあい

楽しい夏の思い出がたくさんできました！

ふれあいでは、夏の行事としまして7月に夏祭り、8月にミニコンサート&カフェを開催しました。夏祭りでは景品釣りゲームで盛り上がった後、焼肉丼や焼きそば、デザートにかき氷(しろくま)を食べました。お祭りの雰囲気に飾られた室内で、職員が汗を流して焼いたお肉の匂いや煙を感じながら、楽しく夏のメインイベントを実施することが出来ました。

ミニコンサートでは、利用者バンドSKB(サンライズ国富バンド)の演奏やリズムダンス活動の発表会を行いました。コンサートでは「我は海の子」等の演奏を楽しみ、その後は、1か月前から練習してきた「パイナポー体操」等を全員で踊りました。本番にはとっても強い利用者さん、練習よりずっと素晴らしい姿を見せてくれました。カフェでは「きみちゃんのおはぎ堂」のおはぎ(こしあんときな粉)を購入し、召し上がっていただきました。「甘くて美味しい」と好評で、夏の暑さも吹き飛ばす楽しい時間となりました。 エデンの園ふれあい 看護師 工 藤 あかり



エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援 B型事業所つむぎ

BBQを行いました！

つむぎでは、8月に慰労を兼ねてBBQを行いました。毎年の恒例行事となっており、利用者さんたちは前から楽しみにされていました。当日は、皆で朝礼を行った後、施設全体の清掃を全員で行い、焼き場チームは職員・利用者一緒になって火おこしを始めます。その他はテーブルや椅子の配置を行い、BBQ会場を職員利用者共に作り上げていきます。

会食が始まってからは、同じテーブルの方と歓談しながら食を進んでいる様子でした。

BBQが終了したら、また全員で片付けです。そして少し休憩した後、締めくくりのかき氷！口の中もサッパリして、残りの夏も作業をがんばるぞ！！と決意を新たにしました。

職業指導員 外 赤 純 子



●エデンホーム森永 (青い鳥・ほのか)

楽しい誕生日会を行いました

今回の誕生日会ではお店でケーキ購入をせずに、誕生者の方も含め利用者さん全員でお祝いの気持ちを込め手作りケーキ作成に挑戦、利用者さんにはデコレーション部分をお手伝いしていただき大変満足の良いケーキが出来上がりました。誕生日会では、お祝いの言葉や歌などで誕生者をお祝いし、楽しみにしていたケーキを皆さん「美味しい、美味しい」と笑顔で食べられていました。新たなことへの挑戦がまた良い経験への一歩に繋がることを実感しました。

世話人兼生活支援員 井戸川 清 寿



●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

夏休みには色々な活動を行いました！

新型コロナウイルスも5類に下がり今年度の夏休みは施設見学や海に行くことが出来ました。海では「海で泳ぐのは初めて」「怖い」等の声が聞かれましたが時間が経つにつれどんどん笑顔が見られていました。昨年度には見られなかった様子や「楽しかった」「また来たい」との声を聞くと少しずつ日常が戻ってきているんだなと感じました。今後も感染症対策をしっかりと行いながら子ども達が楽しめる活動を行っていきます。

放課後等デイサービス 麦わらぼうし 保育士 藤岡 徹





エデンの園 第3福祉課

●生活介護事業所 あゆむ

10月1日より西都市の旧山田保育所跡地に新しく生活介護事業所「あゆむ」が出来ました。これまで三名地区にて生活介護事業所「ふれあい」として行っていましたが、10月より「あゆむ」と事業所の名称も変えて活動させていただきます。今後とも宜しくお願いします。



エデンの園 第4福祉課

●就労継続支援B型事業所 結(むすび)

●相談支援事業所 るるテラス

9月1日より新富町の方に第4福祉課として2つの事業所が開始となりました。今後ともよろしくお祈いします。



相談支援専門員のお仕事を通して学んだこと

季節は夏を過ぎ、秋になろうとしています。今年も残暑が例年よりも一層厳しく、「本当に秋は来るのだろうか。」と思いつつも、朝晩の気温は着実に秋へと向かっており、日中との寒暖差に体調を崩さないように過ごしている今日この頃です。

早いもので、相談支援事業所に異動して、相談支援専門員として働きだして半年が経ちました。まだまだ不慣れなことも多く、日々の業務の中で、上手くいかないこと、悩む事などがありますが、それらは「他の事業所には経験できなかった貴重な体験として、今後の自分を形成するための糧である。」と前向きに捉えて日々精進しています。

外部の研修にも色々参加させていただいており、その中の講義で感銘を受けた言葉があるので、紹介させていただきたいと思います。それは、「一般的に「自立」の反対語は「依存」だと勘違いされていますが、人間は物であったり人であったり、様々なものに依存しないと生きていけない。健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者は色々なものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされているが、真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存できていて、障がい者は限られたものにしか依存できていない。依存先を増やして、一つ一つへの依存度を浅くすると、何にも依存してないかのよう錯覚できる。」というものです。相談支援専門員として、クライアントの自立の為に、様々なサービス、社会資源との架け橋になれる人材でありたいと思っています。

土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト協会）、荒平大輔牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、津村牧師海老牧師（川南せせらぎ教会）、（宮崎北聖書キリスト教会）、山口英希牧師（宮崎清水教会）、浅野謙牧師（きりしまキリスト協会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(7月~10月)

上野 聖子様・ライフサポート瀬戸山様・マルイプロパン様・ダイキチ様・コスモ設計様・一政設備様・丸山美代様・都城点訳・音訳友の会様・宮崎学園短期大学様・宮王丸郵便局様・湊玲子様・奈須亮介様・横山時義様・㈱オフィスLink石丸様・長友様・平和の里様・社会福祉法人玉扇会様・福祉のユーメイド合同会社様

編集後記

今も尚暑い日が続いており、朝方や夜にかけては気温の寒暖差も少しずつ激しくなっています。ようやく秋らしくなっていますが、現在もコロナの状況は変わらずまた少しずつ感染者も増えてきている中で、巷では時季外れのインフルエンザの流行で、学校などでは学級閉鎖等のお話もよく耳にします。これから秋を迎え、やがてはクリスマスや正月を迎えていく中で、もっと感染者が増えてくることも十分予測されます。今後より一層感染対策を一人ひとりがしっかりと行いながら、健康で安心した生活が送れるように法人全体で感染防止の意識を高めてまいりたいと思います。今後ともよろしく申し上げます。

エデンホーム三名 保利 翼